



大野小学校
学校だより
No. 3
文責 前田

命を守る学習を行いました

新型コロナウイルス感染症対策では、学校行事はできるだけ控えることを国や県、市から通知がきています。しかし、命にかかわる学習は必要ですので、避難訓練（地震津波、不審者、引き渡し）と交通教室を行いました。

避難訓練

避難訓練では、全校一斉に集まることはせず、学年ごとに避難方法や避難経路を確認しました。



一年生は、小学校で初めての避難訓練です。どこへ避難するかを念入りに確認しました。上手にできていました。本校は、二次避難できる屋上があるので、ありがたいです。

交通教室

毎年、交通安全協会や地域の指導員の方のご協力をいただきながら実施しています。全国的には自転車事故も増加しています。ご家庭でも交通ルールや乗り方については十分指導してい

ただいていると思いますが、学校でもこの機会を大切にもらえています。

本年度は、感染防止と日頃乗っている自転



車の点検も兼ねて、自分の自転車持参としました。地域の指導員の方3名と一緒に、ブレーキやベル等の点検を行いました。指導員の岡部さんは、チェーンがぎしぎしとなっている自転車十数台に対し、潤滑油

を自宅まで取りに帰って、さしてくださいました。本当に頭が下がります。

子どもたちはしっかりと学習できましたので、後は、ルールを守って自分の命を大切にする行動が求められます。この点は、まだ指導が必要です。家庭や地域と一緒に、子どもたちに指導していきたいと思いたいで、よろしくお願ひします。

引き渡し訓練

多くのご家庭に協力をいただいて実施できました。ありがとうございました。スムーズに実施できました。ただ運動場の水はけがよ

くないという課題も見えてきました。体育館前のスペースだけでは約130台の車に対応できないことをふまえ、検討していきます。

地域学校協働活動推進員が配置されました

新学習指導要領には、「これからの教育は、学校だけでは難しい。家庭は地域といっしょに取り組む必要がある。」として、「社会に開かれた学習課程」の必要性が記されています。



そこで、五者が（学校、子供、家庭、地域、行政）連携するために、地域学校協働本部を設置し、地域と学校をつなぐコーディネーターとして、「地域学校協働活動推進員」が各学校1名位置づけられました。学校や地域のニーズを理解し、地域の人的資源を見だし、さらに地域と学校が協力し合っているように働きかけをして下さる方として、本校では、前PTA副会長の池田琴美さんに依頼し、快く引き受けて下さいました。週に1、2回3時間程度勤務されますので、よろしくお願ひします。

授業の一コマより

1年生国語の授業で、「すきなものなあに」を紹介する場面がありました。「ミッキーマウス、いちご、うさぎ…」といろいろ出ましたが、「友達」と答えた子がいて、素敵だなあと思いました。すると、「学校です。」「なぜかという友達がいっぱいできるからです！」との発表に、まわりの子が「すごいです！」という返しの言葉。1年生の感性に感心した瞬間でした。